

Rokudouyama Park
六道山公園
北巡りコース
NORTHERN COURSE



狭山丘陵、六道山公園の北へ向う道は林の中を歩んでいきます。少しの雨では濡れそうもない木々のトンネルは訪れるたびに違った顔を見せてくれます。右手の合は金瓶沢と呼ばれる柳瀬川上流部。狭山湖建設以前の姿が今でも残されている貴重な場所です。さいたま緑の森博物館の散策路を抜けたら狭山丘陵の頂、またまた里山風景が残る中、なだらかな茶畑を手前に見通しの良いのびのびとした散策ができます。また、地域の歴史の中心となった史蹟を訪れることもできます。

- 箱根ヶ崎駅 → 1 瑞穂ビュースタック 約1.3 km
- 1 瑞穂ビュースタック → 2 三角点広場 約1.2 km
- 2 三角点広場 → 3 さいたま緑の森博物館 約1.1 km
- 3 さいたま緑の森博物館 → 4 出雲神社・西久保観音 約0.8 km
- 4 出雲神社・西久保観音 → 5 西久保湿地 約0.2 km
- 5 西久保湿地 → 6 五輪様の柿の木 約2.7 km
- 6 五輪様の柿の木 → 7 さやま花多来里の郷 約0.3 km
- 7 さやま花多来里の郷 → 8 耕り館・約やき館 約0.7 km
- 8 耕り館・約やき館 → 9 狭山池公園 約0.4 km
- 9 狭山池公園 → 箱根ヶ崎駅 約0.7 km

1 瑞穂ビュースタック

町全体を見下ろせる眺望豊かな高台には、スカイホールとそのシンボルである時計台がそびえ立ち、天気の良い日には美しい富士山を遠くに眺めることができます。

2 三角点広場

お伊勢山遊歩道をはじめとすると、一等三角点が設けられた広場に出る。三角点は、山の頂上付近や見晴しの良いところに設置され、緯度・経度・標高が正確に求められている。標高は194mで、狭山丘陵の開通にもない、広場として整備された。

3 さいたま緑の森博物館・大谷川湿地

さいたま緑の森博物館 六道山公園から狭山湖を一周する「狭山湖外周道路」を2分あまり行くと「さいたま緑の森博物館」に到着。ここはわき水を利用した谷戸や湿地など狭山丘陵の北側の自然を活かした屋外博物館。樹林コースや畑コースなどの散策路が整備されている。

大谷川湿地 狭山丘陵の屋根から一気に谷に降りると大谷川湿地が開ける。大谷川湿地にはトンボ湿地もあり、夏から秋にかけてさまざまなトンボの姿が見られる。ここでは博物館案内所もあり、狭山丘陵の自然を紹介した展示室が設けられている。

4 出雲神社・西久保観音

博物館案内所から西久保湿地方面の畑コースを進むと、林間を抜けて住宅地に出る。

出雲神社 狭山丘陵の屋敷に建てられた五輪様の神楽として知られる由緒ある神社。ここ宮地区は「狭山楽舞」の舞台であり、境内にはそれとちがった「重箱茶楽舞(おさなびらくちまじょうのひ)」が建てられている。

5 西久保湿地

西久保観音から近く、ここには谷戸があり、田んぼは古来も栽培されている。谷戸を一周する散策路もある。

6 五輪様の柿の木

瑞穂名木・高さ14m、目通り2.1mの柿の木。根元にある五輪様は、ここ、富士山地区の先哲を祀るために建てられた、といわれている。近年まで、屋敷内の畑の中に立っていたが、五輪様の柿の木をシンボルとした富士山公園として整備が行われ、人々に親しまれている。



Rokudouyama Park
六道山公園
南巡りコース
SOUTHERN COURSE



六道山公園から丘陵の南側一帯は都立野山北・六道山公園になっています。狭山丘陵の西端にあるこの公園は、計画面積260haに及び都府県最大の都市公園。雑木林、畑、など人々の生活が残りやす里山の景色が色濃く残り、その保全も目的とされています。尾根に沿って狭山湖外周道路が通り、ここから公園内のさまざまな場所へアクセスできます。案内板も各地に設置され、周遊路の途中にはトイレが設けられるなど歩きやすく、しかも温泉で流も洗せるお勧めの散策コースです。

- 箱根ヶ崎駅 → 1 円福寺 約0.5 km
- 1 円福寺 → 2 福正寺 約1.2 km
- 2 福正寺 → 3 六道山公園 約1.0 km
- 3 六道山公園 → 4 岸たんぼ 約1.9 km
- 4 岸たんぼ → 5 六地藏 約0.5 km
- 5 六地藏 → 6 あそびの森 約0.5 km
- 6 あそびの森 → 7 武蔵村山市立野山北公園 約0.2 km
- 7 武蔵村山市立野山北公園 → 8 冒険の森 約0.5 km
- 8 冒険の森 → 9 横田バス停 約1.5 km

1 円福寺

東京都指定の有形民俗文化財「紙本着色懸軸十界図」が所蔵されている。日本全体で13点のみ現存するもの一つで、毎年2月15日の涅槃会で開催。境内には1月にはだるま市、6月にはほおずき市が開かれる。多摩だるまを製作しているのは三多摩8軒。瑞穂にはそのうち5軒があり、円福寺のだるま市は規模は小さいが、瑞穂の5軒だけが売出している。

2 福正寺

金龍山福正寺。開基は六百数十年前の神楽経済宗の古い寺。本堂は鎌倉建長寺。本堂にある観音尊像は、この地方の豪族村山土佐守が、堂を再興したもので、現在のものは享保12(1841)年頃の再建と伝えられている。権木造という珍しい構造で、格天井・花弁・舟・鳥・獸などの絵、淡彩の龍の図も描かれている。

3 たらよりの木

福正寺の境内には珍しい「たらよりの木」があり、瑞穂町の天然記念物に指定されている。この木には字を置くことができ、紙のいない時代の言葉を使って音信をはったといわれ、「はがき」の名はこれから生まれたともいわれている。

4 岸たんぼ・里山民家

瑞穂町と武蔵村山市にまたがる「岸たんぼ」は実際に里山体験ができる場所。丘陵の谷から流れるわき水を利用した田んぼを復活させ、江戸時代中期の民家を復元した「里山民家」を拠点としてさまざまな里山体験、環境・文化学習が行われている。「岸たんぼ」では古来も栽培され、田植え、山子作り、稲刈りなどが体験できる。

5 六地藏

この場所は通称鳩場といわれ、三面に二体ずつの地藏尊を刻んだ六地藏がある。昔年に、明治30年8月から11月にかけて新納が大流行し、5人が死んだため、ここで火災したとことや、中津・横田・三ツ木・岸の四村の念仏講の人々が供養のため浄土を築き、建立したことが刻まれている。近くに公園管理事務所がある。

7 武蔵村山市立野山北公園

公園の中心の池では釣りも楽しめる。池の奥へ行くと体験田んぼもあり、その回りの雑木林はカタクリの群生地として有名。この谷からの水が空堀川となる。ちなみに、狭山地からの猪俣川は多摩川へ、空堀川は荒川へと注いでいる。隣接して武蔵村山市歴史民俗資料館、温泉健康施設「かたくりの湯」がある。

6 あそびの森・冒険の森

丘陵の斜面を活かした雑木林に包まれたアスレチックコース。ピョンピョンカエル、クモの巣攻撃、など楽しい名前が付けられた24種類の木が空堀川にあり、狭山湖外周道路にも入口があり、コースをたどって武蔵村山市立野山北公園に行ける。

受動喫煙防止にご協力ください。歩きタバコはやめましょう。